mudef news
CONTENTS

P2

スペシャルオリンピックス
冬季ナショナルゲーム新潟
理事のMISIAが現地で応援！

たき工房×mudef
Charity Scarf 2016

P3

project magoso
mudefスタッフが
マゴソスクール訪問

mudef×CLUB MSA
マゴソスクールの
音楽大会出場を応援しよう！
キャンペーン実施中

P4

横浜市栄区
MISIAの森プロジェクト
フォトコンテスト審査結果

mudef information

mudef news Vol.54

音楽とARTを通じたよりよい世界づくりを目指す
mudefの「今」をお伝えするニュースレターです。

mudef news is a report on mudef's current activities,
which aim to change the world in a better way through music and art.

2016年3月30日発行

mudef

www.mudef.net

一般財団法人mudef　General Incorporated Foundation mudef (Music Design Foundation)
1500001 東京都渋谷区神宮前1-14-13　info@mudef.net

スペシャルオリンピックス日本（SON）　冬季ナショナルゲーム・新潟
理事のMISIAが現地で応援！
http://www.song2016niigata.com

2月、知的障害のあるアスリートたちのスポーツの祭典、「スペシャルオリンピックス」の冬季全国大会が新潟県で開かれました。

mudefでは、前回、福岡県での夏季大会からSONの活動を応援。今大会も「アスリートに間近でエールを送りたい」と、理事のMISIAが新潟県に駆けつけました。

初日は開会式にサプライズで登場！mudefの活動にご協力頂いている横浜市の「チョコレーチデザイン株式会社」協賛のチョコレート（なんと全選手600人分を頂きました！）をアスリートに手渡し、ステージ上からエールを送りました。

2日目は新潟市内で、フロアホッケーとショートトラックスピードスケートを観戦。どの会場でも、真剣に、楽しそうに競技に臨むアスリートたちの姿と、そんなアスリートに身を乗り出して声援を送る観客の姿もとても印象的でした。

フロアホッケーの会場では、SONの設立当初から活動に尽力されている三井嬉子会長とMISIAが対談。大会がアスリートたちに自信を与えること、そして、障がい者と健常者がかかわり合い、支え合う社会の大切さについて、貴重なお話を伺いました。

アスリート、スタッフ、関係者のみなさん、3日間、本当にお疲れ様でした。

2017年にはオーストリアで冬季世界大会が開催されます。アスリートのみなさん、これからも応援しています！

写真提供：月刊ソトコト

たき工房×mudef　アフリカの子どもたちをデザインで笑顔に
Charity Scarf 2016　〈http://taki.co.jp/taki_products/index.html〉
http://mudef.net/taki-corporation/

TAKI CORPORATION × mudef

mudefでは、広告デザイン会社「たき工房」と「デザインの力でアフリカの子どもたちを笑顔に」を合い言葉に様々なプロジェクトを実施しています。その活動の一環として「Charity Scarf 2016」が今年2月からスタートしました！

たき工房のデザイナーたちがアフリカをイメージして作ったスカーフを販売し、その売り上げの1割がmudefに寄付されるというプロジェクトです。

スカーフは全部で12種類で、プロのデザイナーによる作品はどれも本当に素敵なものばかりです。

大きめのサイズなので、スカーフとしてだけでなく、バッグやベルトに結んでアクセントにしたり、インテリアとして飾ったりすることもできます。

mudefでは、このスカーフの売り上げで頂いた寄付を、アフリカ・ケニアにある「マゴソスクール」の子どもたちを支援する「project magoso」の活動に充てさせて頂きます。

スカーフは、たき工房のオンラインサイト「TAKI PRODACTS」で購入できます。

ちょっとしたオシャレが、アフリカの子どもたちの笑顔に繋がっている、そんなプロジェクト「Charity Scarf 2016」にぜひご協力ください。

project magoso
mudefとたき工房スタッフがケニア・マゴソスクールを訪問
http://mudef.net/magoso/

2月、mudefのスタッフは「project masoso」で支援を続けているケニアのマゴソスクールを訪問しました。

理事の早川千晶さんの案内で「キベラスラム」を歩いて到着したマゴソスクール。元気いっぱいの子どもたちに歌や踊りの歓迎を受け、mudefで進学を支援した卒業生にも会うことができました。

翌日はモンバサにあるマゴソスクールの分校、児童養護施設「ジュンバ・ラ・ワトト」を訪問。ここの子どもたちも地域の大人に見守られ、穏やかに生活をしていました。

今、ケニアは貧富の差がさらに拡大し、貧困の子どもたちの置かれている状況は増々ひどくなっています。そんな子どもたちを救済し教育の機会を提供するマゴソスクールですが、現在600人の子どもを抱え非常に厳しい運営状況に直面しています。

今回、子どもたちの生活に間近で触れて、悲惨な過去を経験し、過酷な現状で暮らす幼い子どもたちが、毎日を元気いっぱいに生きていられるのは、マゴソスクールという支えがあるからだと改めて実感しました。

mudefでは、子どもたちの笑顔を守り未来を明るいものにするためにも、今後もマゴソスクールを支援する様々プロジェクトを展開していきます。

アートイベント実施

今回のケニアにはたき工房の社員にお二人にも同行して頂き、アートイベントを実施しました！

マゴソスクールでは「Charity Scarf 2016」の連動企画として、40人の子どもたちに布にスカーフの柄をデザインしてもらいました。ほかにも2人1組になって順番に絵を描くイベントを実施。どちらもカラフルで素敵な作品が出来上がり、子どもたちにもとっても楽しんでもらうことができました！

食べることや学ぶことは子どもたちが生きていく上で何よりも大切ですが、「遊ぶ」ことや「楽しむ」ことも健やかな成長には欠かせません。理事の早川さんにも「楽しかった思い出は、スラムの子どもたちのその後人生の大きな支えになります」という言葉を頂き、「心の支援の大切さ」を改めて知る機会になりました。たき工房のお二人、ご協力本当にありがとうございました！

mudef×CLUB MSA
マゴソスクールの音楽大会出場を応援しよう！キャンペーン実施中
http://mudef.net/magoso/2016/03/10/000857.html

マゴソスクールの子どもたちは音楽が大好きで、毎年ケニア政府が主催する「Kenya Music Festival全国大会」への出場を楽しみにしています。

しかし、参加するためには交通費などの費用がかかり、今の運営状況では今年8月の大会出場はとても厳しい状況です。

そこで、mudefでは理事のMISIAのファンクラブ「CLUB MSA」にご賛同頂き、夏の大会出場に向けた支援金を募ることになりました。

CLUB MSAメンバーの方はHPをチェックして、ぜひキャンペーンに参加して下さい！

また、CLUB MSAメンバー以外の方のご参加もお待ちしていますので、ぜひ詳細をmudefまでお問い合わせください。

今年も子どもたちが大好きな音楽を楽しむことができるよう、みなさまのご協力をお願いします。

横浜市栄区　MISIAの森プロジェクト
フォトコンテスト秋・冬こたえは森にかくれてる−MISIA×YOKOHAMA−　審査結果
http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/kusei/moripro/

9月から始まった「栄区MISIAの森プロジェクト」のフォトコンテスト。2月末に募集を終了し、全174枚の中から、審査員が選んだ14枚の写真が入賞作品に決定しました！

素晴らしいお写真をご応募頂いたみなさま、本当にありがとうございました。

入賞作品は、栄区のホームページで見ることができます。

mudef information

「もみじの家」がオープン

清水佳代子理事が広報として携わる、在宅医療を受ける子どものための滞在型施設「もみじの家」が、4月、世田谷区の「国立成育医療研究センター」敷地内に開設されます。mudefでもその施設を少しご紹介します。

重い障害や病気に向き合いながら
在宅で医療ケアを受ける子どもとその家族が
楽しい時間を過ごすための第二の我、
それが「もみじの家」です。
「普通の子どもが当たり前にできること」
それがとても難しい子どもたちの「希望」を形にしながら、
遊びや学びを提供していきます。
ぜひ「もみじの家」の運営にご協力ください。
ボランティアや得意分野でのご協力もお待ちしております。

連絡先：157-8535　東京著世田谷区大蔵2-10-1
国立成育医療研究センター
総務部総務課　03-3416-0181

ソトコト5月号
MISIA　あふれ出る想い
「スペシャルオリンピックスで」

2ページ目でもご紹介した「スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲーム新潟」。

今回、大会の応援にかけつけたMISIAにソトコトのスタッフが同行し、3日間にわたる大会と、競技の挑むアスリート達の様子、さらに三井嬉子会長との対談などを取材して頂きました。

「月刊ソトコト5月号［特集］地方の働き方」は4月5日(火)発売です。ぜひチェックして下さい。

We are mudef

mudefは、音楽(music)とデザイン(design)を組み合わせたコトバ。地球には、解決しなくてはならないコトがたくさんあります。様々な問題に取り組むためには、国境を超えて人びとが協力し合うことが大切です。そのために生まれたのが、mudef(ミューデフ)。「地球と人類が直面する宿題解決をちょっぴりでもお手伝いしたい。国境も言語も人種も超えるチカラを持つ音楽とデザインの特技を活かして!」そう考えるアーティストの集まりです。

We have so many issues to solve. To solve the problems, it is crucial that people cooperate with each other beyond borders. We, mudef, was established for that purpose. The term mudef is a combination of the words music and design. We want to contribute to solving the issues the Earth and human beings are facing, even if only slightly, through exploit- ing the special power of music and design that goes beyond borders, languages and races. mudef is a group of artists who share that principle.

mudefへのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。
〈ご寄付はこちら〉三井住友銀行　渋谷駅前支店　普通4201703
お問い合わせ：info@mudef.net

mudef